

令和4年度 横浜市幼保小連携推進地区事業

栄区 上郷地区 活動報告

認定こども園 いのやま

横浜市立 上郷小学校

【推進テーマ】

「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」
～アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの充実～

園での生活の流れや小学校の学習活動などについての具体的な情報交換を重ね園と小学校で共有しながら、2年目も引き続き「園での経験を生かせるスタートカリキュラム」「入学を意識したアプローチカリキュラム」の作成を意識するものとした。

▶ R4 スタートカリキュラムふりかえり

【なだらかな接続の観点から】

- ・ 初日に園の先生が教室に入って手遊びや読み聞かせなどをやってもらうのはとてもよかった。子どもたちの安心した表情が見られた。
- ・ 朝の支度後、遊んで（折り紙や自由帳など）待つことにしたのは園での生活の始まりとリンクしており、落ち着いたスタートに繋げることができた。
- ・ 「遊び」から徐々に「学習」が増えていく構成（時間割）はよかった。
- ・ 給食が始まるまでの数日は他学年より30分程度早く下校させることで精神的にも体力的にも余裕が生まれるのではないか。

→来年度から施行予定

【2年目の取り組み計画】

顔の見える関係づくりを目指して

○園児と児童が名前を呼びあえる関係づくり

- ・年間を通した活動グループの固定化
- ・園と小学校共通で取り組む遊びを設定 ~昔あそびを中心に
- ・交流回数が増設

○保育士・教員が気軽に連絡をとりあえる関係づくり

- ・定期的な推進委員会の開催
- ・互いの行事の参観
- ・連絡方法にメールなども利用

特に今年度は、子どもたち同士が親しい関係を築くことで、交流に深まりをもたせることに主眼を置く

【今年度の活動の経過と今後の予定】

事業名	日時	内容
小学校授業参観・参加	4月 8日	・スタートカリキュラムの最初に幼稚園教諭が参加・参観
小学校給食参観	4月15日	・給食の様子を幼稚園教諭が参観
幼保小接続期研修会	4月22日	・eラーニングによるオンライン研修会
第1回推進委員会	5月19日	・年間計画について ・事業目標の設定確認
小学校運動会	5月28日	・園の職員が参観
交流会①	6月24日	・児童・園児顔合わせ、グループ作り
幼稚園参観	7月 6日	・小学校職員が参観
幼保小連携研修会	7月21日	・こども青少年局による研修に参加
幼稚園運動会	9月17日	・小学校職員が園の運動会を参観
第2回推進委員会	9月27日	・活動の進捗状況・調整 ・アプローチカリキュラムについて
交流会②	10月18日	・1年生の園への訪問交流
交流会③	11月28日	・1年生が年長児を招待し、一緒に遊ぶ。
幼稚園参観	11月30日	・小学校職員が園の発表会を参観
第3回推進委員会	12月20日	・活動の進捗状況・調整 ・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの内容についての検討
交流会④	2月28日	・1年生が年長児に小学校を案内したり、一緒に遊んだりする。(ブロック3園合同)
区教育交流事業報告会	2月 初旬	・区教育交流事業報告会で報告
第4回推進委員会	2月28日	・年間振り返り 次年度計画

交流会①

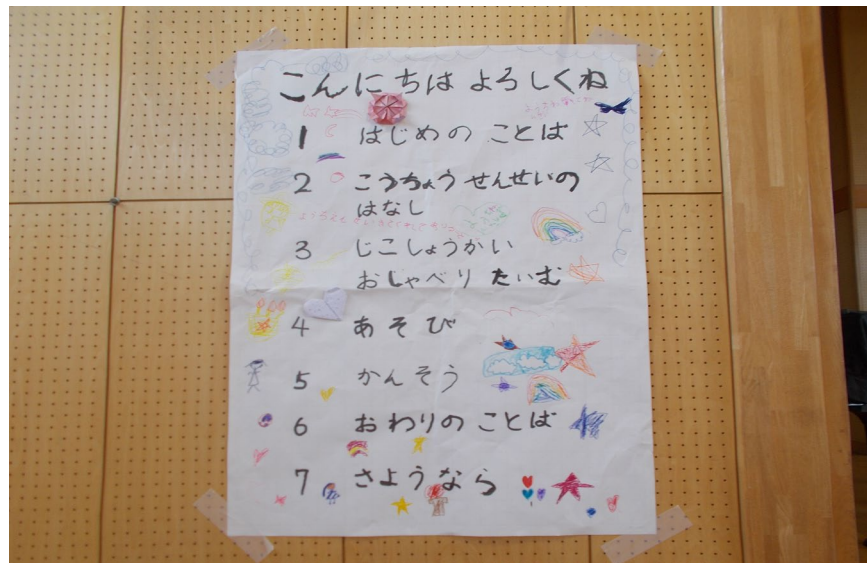
「こんにちは、よろしくね」

日時：6月24日 10:00~11:00

場所：上郷小学校 体育館・校庭

園と小学校でそれぞれ事前に2~3人ずつのグループを作り、小学校の体育館でドッキング。1年間一緒に活動するお友達として名前を伝え、あいさつを交わしました。

【グループで撮影した写真は、名前入りポスターにして、園と学校の双方教室に掲示】



その後、活動場所を校庭に移して「関所じゃんけんゲーム」をみんなで楽しみました。また、今年度共通の取り組みに挙げている「昔遊び」のけん玉も1年生から園児にプレゼントしました。



【成果】

- ・グルーピングをしたことで1年生に活動の枠組みが伝わり、この活動における年長者としての自覚が芽生えたように思える。
- ・3月までそれぞれの園で「年長さん」として活動してきたことを想起させる振る舞いも見られ、教員側の見方が修正される部分もあった。
- ・ルールのある遊びを取り入れたことで、個々の集団への関わり方なども見取ることができた。

交流会② 「なかよくしようね」

日時：10月18日 10:00~11:00
場所：いのやま幼稚園 体育館・園庭

今回は1年生が幼稚園を訪問し、園児たちに迎えてもらいました。「なかよしグループ」のメンバーが合流し、園庭での外遊びや体育館での昔遊びなどをのびのびと楽しみました。



前回に続き、今度はこまをプレゼント。室内では1年生がここまでの間に練習して身につけたけん玉の技を披露したり、こまの回し方を教えたりと活動をリードしていましたが、園児の中にもこま回しやけん玉ができる子もいて、楽しく交流を深めていました。



よく見て
てね！
いくよ！

【成果】

- ・ 幼稚園を訪問したことで園児たちにとっては自分たちのホームグラウンドでの活動となり、リラックスした表情で参加する姿が見られた。年下の子たちと違ってルールを守って遊んでくれるお兄さんやお姉さんが来てくれて一緒に遊んでくれた！嬉しい！という受け止めであった。
- ・ 自由遊びを通して、年長児たちは「小学校に行っても同じように遊べるんだ」と思えた。
- ・ 卒園児たちは懐かしい場所に来たことや職員に声をかけられたことなどを非常に喜んでいた。他園の卒園児であっても小学校とは違う園共通の雰囲気や遊具などから同様の感慨はもっていたようである。学校では一番下なので年下の子たちと触れ合えたことで年長者としての自覚も深まり、「やってあげたい」という思いからの遊びの工夫も見られた。

交流会③ 「たのしんでね」

日時：11月17日 10:00~11:00
場所：上郷小学校 体育館・生活科室
・各教室

1年生は生活科の学習「あきといっしょに」でたくさんの秋を見つけ、色々な遊びを楽しみました。『あきまつり』を開き、幼稚園のお友だちを招待して一緒に遊ぼう！と決めてからは、「幼稚園の子たちはこの説明でわかるかなあ」「このルールの方が楽しんでもらえるんじゃない？」「せっかくだから景品も作ってあげようよ」と『楽しませてあげよう』『喜んでもらおう』と工夫を重ねる姿が随所に見られました。

当日はたくさんの笑顔と熱気と歓声があちこちから溢れていました。



すっかりなかよしになったグループのメンバーと一緒に、
様々な「お店」を回って遊びました。



学校ってなんだか
面白いな。お兄さん
やお姉さんは優
しいね。



【成果】

- ・小学生は相手意識をしっかりとって活動することができた。「活動中にグループの子の名前を何回呼んであげられるか」など具体的な目標をもたせたクラスもあり、3回目の交流会を終えたあとの子どもたちはすっかり打ち解けあって、自然に話しかけたり笑ったりする関係を築くことができていた。
- ・園児たちは小学生が様々に工夫して設定した遊びの場をいつまでも飽きることなく楽しみ、吸収していた。園に帰ってからの活動にすぐにも生かせそうな学びの様子が感じられた。
- ・何よりも継続して交流したことがそれぞれの子どもたちに大きな価値をもたらしていたと感じる。

交流会④

「しょうがっこうは、たのしいよ」 (仮)

日時：2月28日 10:00~11:00

場所：上郷小学校 体育館・校庭・各教室

最後の交流会は幼保小のブロックである3つの園（認定こども園 いのやま・ふあみりーさぽーと のあ・上郷保育園）の年長児を招いて、1年生が小学校の中を案内したり、学校生活を紹介したりする活動を予定しています。（昨年度・一昨年度はコロナ禍のため実施できず学校紹介DVDを作ってお渡ししていました。）

今まで交流してきた「なかよしグループ」以外の園児も加わることで1年生はより丁寧に年長児に接することでしょう。お互いに進級の喜びや期待が高まる活動になることを目指します。



〈全体を振り返って〉



【成果】

- ・ 2年目となる今年度は、取組テーマ「顔の見える関係づくりを目指して」を設定したことで、子ども目線での交流ができたように思える。相手意識を強くもつことで1年生の子どもたちの主体性が増し、回を重ねるごとに、より温かみをもって接する姿や工夫する姿を見ることができた。園児たちにとっても顔見知り、顔なじみができていったことは確実に小学校入学への不安を薄れさせたのではないかと思う。他校へ入学する子どもたちにとっても「小学生ともなかよく遊べた」という経験は、入学後にもプラスになると考える。
- ・ 今回の報告には記載しなかったが、推進委員会の場では園のアプローチカリキュラムを共有しながらスタートカリキュラムに反映できそうなことは何か、具体的に話し合った。園児たちが好んで行っている遊び（例「ドッジボール」「すごろく」「リレー」）みんなが歌っている歌（例「さんぽ」）号令の言葉（例「姿勢をただしてください。」「〇組さん、はい！」）などを意識的に取り入れていくことで「知ってる!」「幼稚園でもやった!」と安心に繋がるスタートカリキュラムを検討している。

【今後に向けて】

- ・ 連携推進地区事業3年目となる来年度は、今年度の取組を通して得た成果をスタートカリキュラムとアプローチカリキュラムに反映させ、実際に運用して検証していくことになる。「子どもの育ちと学びをつなぐ」連携がより充実していくことを目指したい。